

赤木義英



「(試合が終わった瞬間は)最高な気持ち。(4年間を振り返って)長いようで長い4年間だった。(4年生としてのこの1年間)はすごい内容の濃い1年。(印象に残っている試合は)2年生の春の日大3回戦。自分のエラーで負けて2部に落ちたから。(駒大野球部とは)うーん(汗)。どうでしょう。(新チームに期待したいことは)駒沢を有名にせよ！(後輩に伝えたいことは)頑張れよ！(自分がチームに残せたと思うことは)がむしやんな文句。(卒業後の進路は)広島日野自動車で軟式をやる。(同期に対して一言)付き合い悪くなって悪い♪どどん誘ってくれやあい！」

「(試合が終わった瞬間は)純粋に1部に昇格できて、来年から後輩に神宮で試合をさせることができうれしかった。(4年間を振り返って)長くもあり短くもあり、うまくいかないことが多かったけど人として成長できたと思う。(4年生としての1年間)はコーチがいなくなり、自分たちでやらなければいけなくなった。でもその自分たちでやらなければいけないという気持ちでチームが一つにまとまっていたのですごく充実した1年だった。(印象に残っている試合は)大学3年の秋の専修戦。唯一活躍した試合だから。(駒大野球部とは)人として成長できる場所。(新チームに期待したいことは)僕たちには目標にできなかった全日本優勝が狙える位置に立てるので是非とも頑張ってもらいたい。(後輩に伝えたいことは)来年は今年より厳しくなると思う。でも3年を中心に一つ一つ壁を乗り越えていってほしい。(卒業後は)独立リーグの福井ミラクルエレファント。(同期に対して一言)みんなと辛い時や楽しい時を分かち合えて本当に良かった！またみんなで飲みに行こうね！」



石橋拓也

「(試合が終わった瞬間は)最高にうれしかった。(4年間)はけがが多くて納得のいくプレーができなかったけど…(今季の)日大戦でホームランを打てた。悔いは残ったけど、最後の最後までいろいろ考えさせられた。何か残して引退しようって考えた時に、自分で言うのもなんだが、後輩から慕われていると思う(笑い)。そういう後輩との絆というか繋がりを…。実は民法組っていう裏の組織があって(笑い)、メンバーは谷口、山下、あと竹島。他にも下に数挙げればいっぱいいるけど(笑い)。いい意味で絆を残せたかな。(4年生としての1年間)は正直僕はチームをまとめるんじゃなくて裏で後輩をまとめるのが僕の仕事だと思うからそういうのができた。(印象に残っている試合は)(今秋の)日大戦。最初で最後のホームラン。1本打つまでにこれだけの時間をかけちゃったけど、自分でも感激したっていうか、そういう1本だった。(駒大野球部とは)家族。(後輩には)個人的にはがむしやらさというか、駒大の色を出してほしい。あと、野球だけじゃなくて人間的にも成長してほしい。(同期に対して一言)元気でやれよ！かな？(笑い)」



山本祐大

「(試合を終えた瞬間は)1部に上がった瞬間鳥肌が立った。(4年間を振り返って)駒大の先輩を始めとするいろんな方々と接することで、吸収することがたくさんあり、大きく成長した。ここで過ごした日々は社会に出る上で大切な4年間になった。(4年生としてのこの1年)は自分達のチームと思うと責任を強く感じ、絶対1部に上げるという楽しみな気持ちの両方があった。そういうことを一番強く感じていたのはキャプテンだと思し、ここまでうまくチームをまとめてくれたことに感謝している。(駒大野球部とは)偉大な組織。先輩方々が築き上げた伝統ある素晴らしい野球部。その一員として4年間野球ができたのは幸せ。(新チームに期待したいことは)来年からは神宮球場なのでのびのび思いきってプレーして、今度は日本一目指して頑張りたい。(自分がチームに残せたと思うことは)自分ではわからない。逆にいろいろ勉強させられたことが多いかもしれない。(卒業後は)三菱重工広島で社会人野球。(同期に対して一言)4年間ありがとう。苦しい中一緒に過ごした4年間は、自分の中で切っても切れない仲間。駒大野球部のOBと胸を張って言える社会人になれるように頑張ろう」

「(試合が終わった瞬間は)最高にうれしかった。(4年間)はけがが多くて納得のいくプレーができなかったけど…(今季の)日大戦でホームランを打てた。悔いは残ったけど、最後の最後までいろいろ考えさせられた。何か残して引退しようって考えた時に、自分で言うのもなんだが、後輩から慕われていると思う(笑い)。そういう後輩との絆というか繋がりを…。実は民法組っていう裏の組織があって(笑い)、メンバーは谷口、山下、あと竹島。他にも下に数挙げればいっぱいいるけど(笑い)。いい意味で絆を残せたかな。(4年生としての1年間)は正直僕はチームをまとめるんじゃなくて裏で後輩をまとめるのが僕の仕事だと思うからそういうのができた。(印象に残っている試合は)(今秋の)日大戦。最初で最後のホームラン。1本打つまでにこれだけの時間をかけちゃったけど、自分でも感激したっていうか、そういう1本だった。(駒大野球部とは)家族。(後輩には)個人的にはがむしやらさというか、駒大の色を出してほしい。あと、野球だけじゃなくて人間的にも成長してほしい。(同期に対して一言)元気でやれよ！かな？(笑い)」



民法知絃



西川吉樹



「(試合が終わった瞬間は)幸せだった。厳しかった反面、今までやってきたことが実って嬉しかった。初めて勝って泣いた。(4年間)は短かった。僕たちの代はいろいろあったので辛い思いとかもあったけど、その分跳ね返りも大きかった。(印象に残っている試合は)最後の入替戦。岡がずっと打てなくて…。そしたら笠間が『お前は上に立つ立場になるんだから、もう1回チャンスが回るからそこで絶対打て』って言ったのを聞いて。岡はベンチで泣いていて…。岡はチームで1番頑張っていた。調子がいい時も悪い時も変わらずに頑張る。だから(あの適時打は)自分のことのようにうれしかった。(新チームに期待したいことは)応援されるチームであってほしい。(卒業後は)僕は消防士として働く。(同期に対して一言)改めて言うのは恥ずかしいけど…(苦笑)。真剣にやっていたのは彼らのおかげ。彼ら以外とはやれなかったと思う。彼らだから真剣にやれたので、感謝の気持ち」

「(1部復帰は)最高の結果で終わりになって本当にうれしい。本当今の4年生は苦労したので…上がらなきゃっていうプレッシャーがあったから。いろんな人が応援してくれて、たくさんの方が来てくれたので、その人たちのためにもという思いがあった。(4年生としての1年間)は今まで先輩たちがまとめていたけど私たちがやっつけていかなきゃって自覚が出てきて充実していた。(印象に残っている試合は)今季の拓大で井口が打たれたやつ！1球で決まっちゃって。もう…かわいそうでかわいそうで！でも思った以上に大丈夫っすよ、とか言っていて(笑い)。何でこの試合なんだろう。本当は4年生が活躍した試合とかがいいのに(笑い)。(駒大野球部とは)いろんなことを教えてもらった。青春そのもの！(後輩に期待したいことは)ピッチャーはそろっているし、野手も岡、山下、嘉数に…っている。いきなり優勝っていうのは厳しいと思うから、まず1部に残留して優勝はその後にしてほしい(笑い)。(後輩に伝えたいことは)みんな大好き！いい後輩に助けられた。(卒業後は)東京都の高野連。だからまたここ(神宮)にお世話になるかも(笑い)。(同期に対して一言)4年間仲間として…一緒に過ごしてくれてありがとう。4年生大好き！」

高梨知栄美

女子マネージャー

